



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月4日 東

上場会社名 K L a b株式会社 上場取引所  
 コード番号 3656 URL http://www.klab.com/jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 真田 哲弥  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 高田 和幸 (TEL) 03-5771-1100  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月4日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績 (平成28年1月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	8,879	△14.9	51	△96.7	△746	—	△1,342	—
27年12月期第2四半期	10,435	8.9	1,551	122.9	1,612	130.3	665	22.9

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 △1,348百万円 ( —%) 27年12月期第2四半期 656百万円 ( 20.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	△36.75	—
27年12月期第2四半期	18.35	17.93

(注) 平成28年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第2四半期	10,811	8,530	78.4
27年12月期	12,633	9,867	77.7

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 8,476百万円 27年12月期 9,819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想 (平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期(累計)	14,879	△10.2	1,001	△55.9	153	△92.8	△797	—	△21.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年12月期2Q	37,858,500株	27年12月期	37,797,600株
28年12月期2Q	1,308,300株	27年12月期	1,327,800株
28年12月期2Q	36,529,141株	27年12月期2Q	36,277,376株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(3) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高は8,879,075千円となり、前年同四半期比14.9%の減少、直前四半期比15.8%の減少となりました。これは主に「ラブライブ!スクールアイドルフェスティバル」の売上が減少したことによるものです。

費用面では、売上原価は6,758,346千円となり、前年同四半期比0.2%の増加、直前四半期比15.5%の減少となりました。これは主に売上減少に伴う使用料及び支払手数料が減少したことによるものです。

販売費及び一般管理費は2,069,647千円となり、前年同四半期比3.1%の減少、直前四半期比31.4%の減少となりました。これは主に「BLEACH Brave Souls」の広告宣伝費及び業務委託費が減少したことによるものです。

その他、為替差損として752,374千円を、特別損失として867,735千円を計上しました。為替差損につきましては、主に当社の保有する外貨建資産を当第2四半期会計期間末日の為替相場で評価したことによるものです。特別損失につきましては、主に「パズルワンダーランド」及び「Age of Empires: World Domination」を減損損失したことによるものです。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高8,879,075千円（前年同四半期比14.9%減）、営業利益51,081千円（前年同四半期比96.7%減）、経常損失746,199千円、親会社株主に帰属する四半期純損失1,342,559千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は10,811,052千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,822,119千円の減少となりました。

流動資産合計は7,457,874千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,021,704千円の減少となりました。これは主に、有価証券の減少によるものであります。

固定資産合計は3,353,178千円となり、前連結会計年度末に比べ、800,414千円の減少となりました。これは主に、無形固定資産の減少によるものであります。

## (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は2,281,013千円となり、前連結会計年度末に比べ、484,902千円の減少となりました。

流動負債合計は2,264,458千円となり、前連結会計年度末に比べ、468,324千円の減少となりました。これは主に、未払金の減少によるものであります。

固定負債合計は16,554千円となり、前連結会計年度末に比べ、16,578千円の減少となりました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

## (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は8,530,039千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,337,216千円の減少となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月期第3四半期連結累計期間の業績見通し

当社グループの属するモバイルオンラインゲーム業界は、ヒット作の有無により業績が大きく変動いたします。現時点において、平成28年12月期（通期）の業績見通しを見積もることは困難であるため、平成28年12月期（通期）の業績見通しは開示いたしません。

なお、平成28年12月期第3四半期連結累計期間の業績見通しは以下の通りとなっております。

平成28年12月期第3四半期連結累計期間（平成28年1月1日～平成28年9月30日）

売上高	14,879百万円
営業利益	1,001百万円
経常利益	153百万円
四半期純利益	△797百万円

上記に記載した将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な不確定要素により変動する可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

##### (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

#### (減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取り扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響はありません。

### (3) 追加情報

#### (法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第15号)及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」(平成28年法律第13号)が平成28年3月31日に公布され、平成28年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げが行われることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の32.34%から、平成29年1月1日に開始する連結会計年度及び平成30年1月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異等については30.86%に、平成31年1月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については30.62%となります。

なお、この税率変更による影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,634,476	4,103,046
売掛金	2,066,738	1,467,397
有価証券	1,217,039	—
仕掛品	—	101,199
その他	1,561,732	1,786,556
貸倒引当金	△407	△325
流動資産合計	8,479,579	7,457,874
固定資産		
有形固定資産	308,169	270,671
無形固定資産		
のれん	30,401	15,982
その他	1,391,443	699,802
無形固定資産合計	1,421,845	715,785
投資その他の資産		
投資有価証券	1,308,987	1,097,360
その他	1,120,544	1,275,314
貸倒引当金	△5,953	△5,953
投資その他の資産合計	2,423,578	2,366,720
固定資産合計	4,153,592	3,353,178
資産合計	12,633,172	10,811,052
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,093,543	1,108,099
短期借入金	—	123,492
賞与引当金	92,820	96,288
未払法人税等	112,246	50,194
その他	1,434,171	886,384
流動負債合計	2,732,783	2,264,458
固定負債		
長期借入金	30,000	15,000
その他	3,132	1,554
固定負債合計	33,132	16,554
負債合計	2,765,915	2,281,013
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,551,472	4,560,708
資本剰余金	4,247,228	4,256,463
利益剰余金	1,923,073	555,445
自己株式	△856,457	△847,780
株主資本合計	9,865,316	8,524,837
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16,670	△138,951
為替換算調整勘定	△28,777	91,079
その他の包括利益累計額合計	△45,447	△47,871
新株予約権	12,340	21,134
非支配株主持分	35,046	31,939

純資産合計	9,867,256	8,530,039
負債純資産合計	12,633,172	10,811,052



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	10,435,051	8,879,075
売上原価	6,748,113	6,758,346
売上総利益	3,686,938	2,120,728
販売費及び一般管理費	2,135,271	2,069,647
営業利益	1,551,666	51,081
営業外収益		
受取利息	843	14,904
受取配当金	—	4,132
為替差益	70,265	—
助成金収入	—	11,668
その他	15,453	13,324
営業外収益合計	86,562	44,029
営業外費用		
支払利息	387	1,634
持分法による投資損失	16,532	6,142
為替差損	—	752,374
その他	8,929	81,158
営業外費用合計	25,850	841,310
経常利益又は経常損失(△)	1,612,378	△746,199
特別利益		
自己新株予約権消却益	39	648
特別利益合計	39	648
特別損失		
減損損失	65,325	757,700
その他	1,534	110,035
特別損失合計	66,860	867,735
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	1,545,558	△1,613,286
法人税等	887,575	△273,000
四半期純利益又は四半期純損失(△)	657,982	△1,340,285
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支 配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,873	2,273
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	665,855	△1,342,559

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	657,982	△1,340,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△86,356
為替換算調整勘定	△990	114,476
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△35,924
その他の包括利益合計	△990	△7,804
四半期包括利益	656,991	△1,348,090
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	665,868	△1,344,982
非支配株主に係る四半期包括利益	△8,876	△3,107

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計 (注) 2
	ゲーム事業		
売上高			
外部顧客への売上高	10,412,405	22,645	10,435,051
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	10,412,405	22,645	10,435,051
セグメント利益	3,681,711	5,226	3,686,938

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他事業を含んでおります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため差異調整は行っておりません。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計 (注) 2
	ゲーム事業		
売上高			
外部顧客への売上高	8,842,216	36,859	8,879,075
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,842,216	36,859	8,879,075
セグメント利益又は損失(△)	2,124,141	△3,413	2,120,728

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、イベント事業・その他事業を含んでおります。  
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため差異調整は行っておりません。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ゲーム事業」セグメントにおいて、ソフトウェア等の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において757,700千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であったKLab Entertainment株式会社を連結の範囲に含めたことにより「イベント事業」を事業セグメントとし、「その他」の区分に含めて記載しております。

また、第1四半期連結会計期間より、従来「その他事業」として記載していた報告セグメントにつきましては、重要性が乏しいことからセグメントの区分方法を見直し、「その他」の区分に含めて記載しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分に基づき作成したものを記載しております。